

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42100	公衆便所管理事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	市長公約		
			予算	款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境			実施計画事業	公衆便所管理事業
担当課	水道部下水道課		内線	項	2	清掃費		施策の概要	2	公衆衛生環境の確保	H29実施計画額			
		2264	目	1	清掃総務費									

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか(意図)	・公衆便所の整備や維持管理を行い、誰にでも快適に利用できるものにする	概要	事業の実施手法(手段)	・年間を通して公衆便所を快適に利用できるように清掃等の維持管理を行う ・観光客等の動向とニーズの変化を見極め、公衆便所の整備、改修の必要性を検討する
	対象者数	4,341,000 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・定期的な清掃の実施								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		公衆便所の設置		箇所	目標値	12	12	12	12	12
		実績値		12	-	-	-	-		
		算出根拠等		所管する公衆便所の箇所数	達成率(%)	100	-	-	-	-
		公衆便所の維持管理		日数	目標値	366	365	365	365	366
	実績値		366	-	-	-	-			
	算出根拠等		トイレの維持管理日数	達成率(%)	100	-	-	-	-	
	公衆便所の新規整備		箇所	目標値	0	0	0	0	0	
	実績値		0	-	-	-	-			
	算出根拠等		整備箇所数	達成率(%)	-	-	-	-	-	
成果指標	公衆便所の維持管理に対する苦情		件	目標値	0	0	0	0	0	
	実績値		0	-	-	-	-			
	算出根拠等		実際に寄せられた苦情	達成率(%)	-	-	-	-		
			目標値							
	実績値									
算出根拠等		達成率(%)								

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・観光客等の動向と利用者ニーズの変化を見極め、継続して施設の整備・修繕・改修を行っていく必要がある
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・トイレにおける衛生面の確保と快適性の維持のため、清掃を定期的に行う ・昨年度の利用者からの苦情はないが、今後も適正な維持管理と清掃時における利用者への丁寧な対応に心がけるよう、委託業者と密接な連絡をとる	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	
	拡大	・引き続き、清潔で使いやすい公衆便所として維持管理を行う
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	14,275	14,015	14,429	16,041
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4	3	3	4
	受益者	観光客入込み数	(B)	4,025,000	4,341,000	4,341,000	4,341,000

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	下水道課所管の公衆便所の適切な維持管理	要求のポイント	・施設の維持管理に必要な光熱水費等の経費を計上	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴い、点検調査による適切な修繕の実施
------	---------------------	---------	-------------------------	---------	----------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		14,429	16,041	1,612	14,429	14,429	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	100	1	△99				
	一般財源	14,329	16,040	1,711	14,429	14,429		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42110	浄化槽整備費助成事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	概観計画		市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます
			款	4	衛生費	個別分野	5	上下水道	実施計画事業	浄化槽整備費助成事業		
担当課		水道部下水道課	項	2	清掃費	施策の概要	4	水洗化の普及	H29実施計画額	25,000	千円	
		内線 2264	目	1	清掃総務費							

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	下水道整備計画区域外の市民	どうしたいのか(意図)	・下水道が整備されていない地域の家庭等に対し、浄化槽の設置を促進し、発生する生活排水を適正に処理する ・公共用水域の水質汚濁の進行を防止し、生活環境を向上させる	概要	事業の実施手法(手段)	・下水道整備計画区域外の世帯(浄化槽整備区域)で浄化槽を設置する市民に対して補助金を交付する ・特に建設年数が経っている既存の住宅については補助金を上乗せし、個人負担を大幅に軽減することで、水洗化を促進する
	対象者数	638					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・浄化槽整備事業補助金交付実績 20件								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		浄化槽設置整備事業補助金交付件数		件	目標値	25	25	22	25	25
		算出根拠等			実績値	20	-	-	-	-
		交付件数			達成率(%)	80	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		生活排水処理率		%	目標値	93	93	93	93	93
		算出根拠等			実績値	93	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民が住宅の水洗化に伴い浄化槽を設置する場合において、補助金により個人負担が軽減できる制度を知ることができるよう、様々な周知方法を活用し、浄化槽の設置を推進する
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・補助制度の周知にあたっては、行政サイドから市民への周知活動だけでなく、関係業者とも連携した周知活動をあわせて進める	
次年度の担当課の考え方	○ 維持・改善	
	拡大	・公共用水域の水質保全、生活環境の向上のため、補助事業を継続する
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 16,069	16,812	25,038	24,736	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,071,267	840,600	1,001,520	989,440	
	受益者	補助金利用者数 (B)	15	20	25	25

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・下水道整備計画区域外の地域における浄化槽設置に対する助成	要求のポイント	水洗化率向上に向けた必要な経費を計上	事業実施の課題	・効果的な周知・啓発手法
------	-------------------------------	---------	--------------------	---------	--------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,038	24,736	△ 302	20,038	20,038	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	3,762	3,762	0	3,321	3,321		
国庫支出金	3,819	3,762	△ 57	3,379	3,379		
県支出金		52	52				
その他	17,457	17,160	△ 297	13,338	13,338		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42300	し尿処理施設管理事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	市長公約	安全に暮らせる環境づくり ・市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます
			款	4	衛生費	個別分野		2	生活環境	実施計画事業			
担当課	水道部下水道課		内線	2	清掃費	施策の概要		2	公衆衛生環境の確保	H29実施計画額	194,000 千円		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	し尿及び及び浄化槽設置の市民	どうしたいのか(意図)	・処理施設を適正に運転管理を行うことで汚水を適切に処理し、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努める ・適正に管理を行うことで、施設の健全化及び延命化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・施設の運転は止めることができないため、定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的に起こる修繕に迅速に対応する ・専門的知識を有する業者に運転管理を委託し、汚水基準内に処理する ・汚水の処理に伴い発生する汚泥(一般廃棄物)を適切に処理する
	対象者数	11,828 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期修繕などを行い施設の機能維持を実施</li> <li>処理施設において、処理した水は排水基準内であった</li> <li>委託業者の定期的な保守点検作業により機器等の故障による処理停止もなく、適切な汚水処理を行った</li> <li>し尿、浄化槽汚泥の適切な処理の実施</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		し尿処理施設数		施設	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	2	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
				達成率(%)						
				目標値						
				実績値						
				達成率(%)						
				目標値						
				実績値						
			達成率(%)							
成果指標	放流水の水質基準適合処理場		施設	目標値	2	2	2	2	2	
				実績値	2	-	-	-	-	
	算出根拠等		水質検査の結果	達成率(%)	100	-	-	-	-	
				目標値						
				実績値						
				達成率(%)						
			目標値							
			実績値							
			達成率(%)							
			目標値							
			実績値							
			達成率(%)							
			目標値							
			実績値							
			達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・定期的な保守点検と清掃を実施するとともに、突発的な修繕に対応する必要がある ・計画的に設備の補修や部品等の交換を行うことにより修繕箇所を減らし、施設の長寿命化とコスト削減を図る必要がある
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・定期的な点検により設備の補修や部品等の交換を行い、また修繕計画により修繕費用の平準化を進める ・委託業者からコスト削減に向けた事業提案を促している	
課の考案の担当	○ 維持・改善	施設の適切な管理運営を継続して行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	184,353	185,092	192,759	209,347	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	14,320	15,649	16,297	17,699	
	受益者	し尿及び及び浄化槽設置の市民	(B)	12,874	11,828	11,828	11,828

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・環境センター及び久々野衛生センターの維持管理	要求のポイント	・施設の維持管理経費を計上 ・飛騨市への管理運営事務委託料を計上	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴い点検調査による修繕の計画的な実施
------	-------------------------	---------	-------------------------------------	---------	----------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	192,759	209,347	16,588	190,279	190,279	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	4,907		△ 4,907	4	4		
	一般財源	187,852	209,347	21,495	190,275	190,275		